

# 警報等発令時及び災害発生時等の対応について

## 1 突発的な地震発生時の対応について

大きな揺れを感じた際は頭を保護し、揺れが収まるのを待ちます。ラジオ、インターネット、富士市職員防災情報メール等により情報を集めてください。その際の判断基準は震度になります。非常時の連絡は、「マチコミ」か「ライデンスクール」で行います。

しかし、連絡手段が全て絶たれるほどの甚大な被害が出る場合も想定できます。たとえ連絡がなくても、このような動きとなることをご承知おきください。

学校では、地震発生後、しばらくは身の安全を確保することに努めます。その後、津波の発生や建物の倒壊の恐れがないか等、避難経路を確認し、安全な場所へ避難します。

状況	登・下校中	在校中	校外活動中	在宅時
震度4以下	安全には十分に気を付けて、登校する。	原則、通常授業を継続する。	原則、通常授業を行い、安全確保に努める。	登校前は、自宅待機とする。安全を確保し、学校からの指示を待つ。
震度5弱以上	場所により、自宅か学校のどちらかを判断し、速やかに移動する。	原則、教育活動を中止する。 保護者への引き渡しを行い、引き渡しができない児童については、校内に留め置く。		原則、休校とする。保護者の管理下で行動する。

## 2 南海トラフ地震臨時情報の発表時の対応について

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合は、状況に応じ次のような南海トラフ臨時情報が発表されます。

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	①調査中	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	②巨大地震注意	南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等 ※情報発表後7日以内に、南海トラフ沿いで巨大地震が発生する確率は通常の <b>数倍程度</b> の状態
	③巨大地震警戒	南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合 ※情報発表後7日以内に、南海トラフ沿いで巨大地震が発生する確率は通常の <b>100倍程度</b> の状態
	④調査終了	巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

- (1) 「調査中」、「巨大地震注意」、「調査終了」の場合は、通常授業を行います。
- (2) 「巨大地震警戒」の場合は、教育活動を中止し休校になります。
  - ・ 登下校中の場合は、情報を知った時点で、自宅か学校の近い方に避難します。学校に避難した児童は、保護者に引き渡します。
  - ・ 在校中は、原則として児童を学校に留め置きます。保護者の希望で引き渡すことも可能です。
  - ・ 校外活動中の場合は活動を中止し、安全を確保した後、保護者に引き渡します。
  - ・ 「巨大地震警戒」の発表後は、巨大地震発生リスクが非常に高まります。また、本校は、「津波避難対象区域（事前避難対象区域）」に指定されている町内会が校区にあるため、1週間程度は休校になります。

## 3 大雨・洪水・暴風などへの対応について

- (1) 午前6時30分の時点で『富士市』に(大雨・暴風・洪水いずれかの)『警報』が出ている場合は、児童は自宅で待機してください。(大雨等で安全上危険と保護者が判断した場合も同様です。)
 

また、『富士市』の『警報』は、テレビ・ラジオ・電話・インターネット等でご確認ください。
- (2) 午前6時30分～午前7時までに、「マチコミ」か「ライデンスクール」で自宅待機か登校の連絡をします。その後は、午前9時30分までに最終の判断をし、休校か登校の連絡をします。
- (3) 児童が在校中に『警報(大雨・暴風・洪水)』が発令された場合は、中学校と相談し決定します。予定より早く下校する場合は、「マチコミ」か「ライデンスクール」で連絡します。
 

児童の安全にかかわるような災害で連絡が取れない場合は、学校で待機しています。保護者の判断で迎えをお願いします。